

2024年度 磐田市リカレント講座

# ここからはじまる! データサイエンス

～データ分析の基礎を学び、仕事の効率、生活の質をより良くしよう～


本講座では、静岡産業大学の教員が、  
データ解析の基本的な考え方や経営への活用、  
留意点について事例を用いて、  
やさしく解説いたします。



日程	11月22日(金)	11月29日(金)	12月6日(金)	12月13日(金)	12月20日(金)
令和6年	申込 〆切 11月18日(月)	申込 〆切 11月25日(月)	申込 〆切 12月2日(月)	申込 〆切 12月9日(月)	申込 〆切 12月16日(月)

時間	各回共通 13:30～16:40	定員	30名
会場	静岡産業大学 磐田キャンパス6101教室	受講料	参加無料

お申込



- 大学ホームページまたは右記QRコードより申し込み
- 受講希望講座(複数可)、お名前、住所、電話番号、メールアドレスをFAX、メール、郵送、または磐田キャンパス窓口へ

お問い合わせ

静岡産業大学 総合研究所(磐田キャンパス内)  
〒438-0043 磐田市大原1572-1  
TEL0538-36-8864 FAX0538-36-8800  
E-mail sird@ssu.ac.jp

第1回

令和6年

11月22日(金)

13:30~16:40

講師

経営学部 准教授

岩本 武範



## データサイエンスの「デ」を知る

～データで解き明かす意思決定の理由～

申込メ切  
11月18日(月)

データサイエンスの基礎を学び、意思決定の背後にあるデータの力を理解します。ビジネスや幸福度測定などに応用する方法を探ります。

統計学とデータ分析の基礎を学び、経済・経営・ビジネスにデータサイエンスを応用します。最新のビッグデータとAIの動向も紹介し、実践的なスキルを身につけます。

第2回

令和6年

11月29日(金)

13:30~16:40

講師

スポーツ科学部 学部長 教授

高橋 和子



## AI時代を生きる マインドフルネス活用法

申込メ切  
11月25日(月)

AIを使いこなすのは知能。身体を無視して知能を語ることはできません。スティーブ・ジョブズがきっかけとなり、大企業がマインドフルネスを取り入れたように、こころとからだに気づきを促す運動や呼吸法により、「直感力」を得られたらと願います。

マインドフルネス(瞑想)は簡単です。数分間、積極的にポーズとする癖をつけてみましょう。知らぬうちに緊張が取れ腹式呼吸に変わり「幸せ物質:セロトニン」が出てきます。休まるともう一つの「幸せ物質:ドーパミン」が放出され、やる気もたらされます。本講座では実際に体験してみます。

第3回

令和6年

12月6日(金)

13:30~16:40

講師

静岡産業大学 名誉教授、  
前学長

鷲崎 早雄



## 「データとAIの時代」と 数理的方法の経済価値

申込メ切  
12月2日(月)

内閣府のSociety5.0は「データとAI」が広く社会活動に進展することが前提です。そのために求められている数理的方法の能力は、「AIやデータを使いこなす能力に加え、価値創造を行う能力である」ことを優しく話します。

前半は、大量データ解析が各種の意志決定にますます活用されていること、適用範囲は意外なほど広いことを事例に交えて紹介します。後半は、「数理資本主義」の報告書を用いて、数理的方法の能力開発、教育、ジェンダーギャップ、そのための政策について考えます。

第4回

令和6年

12月13日(金)

13:30~16:40

講師

経営学部 教授

牧野 好洋



## アンケート調査を活用しよう ～統計学に基づく調査の設計～

申込メ切  
12月9日(月)

私たちは今日、スマートフォンなどを用いて、アンケート調査を手軽に実施できます。この講座では、統計学に基づく調査の設計方法を修得し、調査をより正確に実施、結果をよりの確に考察できるようになりましょう。

講座では、アンケート用紙の作成方法(質問や選択肢の立て方など)、対象者の選び方(回答者数と精度の関係、対象者の抽出方法など)、結果の集計の仕方(年齢による回答傾向の違いを把握する方法など)を学びます。

第5回

令和6年

12月20日(金)

13:30~16:40

講師

経営学部 学部長 教授

佐野 典秀



## 生成AIのビジネス活用 はじめの一步

申込メ切  
12月16日(月)

ChatGPTの初版が公開されてから、2年近くになり、さまざまな応用がみられるようになりました。テキスト(文字)だけでなく、画像や音声データも扱う生成AIの登場により変わるビジネスの世界の活用例をみてみましょう。

本講座では、生成AIのビジネス活用事例の第1歩としてチャットボットの導入を取り上げ、中小企業でも導入できる自前のチャットボットとFAQの連携、運用上の注意等を見ながら、他の生成AIの活用について探っていきます。